

松戸市公共交通計画の策定にあたっての方針について

地域公共交通計画策定にあたっては、上位計画で示されている方針の実現に向けた項目を中長期的な視点で整理するほか、関連計画との整合・連携を図ります。

検討にあたっては、公共交通だけでなく地域の移動という視点で施策・事業を精査し、本市の実情に即した政策体系の構築を目指します。

- ① 市民・交通事業者・行政など、地域の関係者の連携・協働を意識し、それぞれの役割分担を明確化していく。
- ② 行政と交通事業者の努力のみで成果を出そうとするものではなく、政策効果の発現には欠かすことができない市民の知識向上・行動変容など、地域の移動に関する改善に貢献しようという意識の改革を図る。
- ③ 社会動向や市の状況を柔軟に反映し、実効性の高い取組を展開し続けることができる運用体制を構築する。



《方針達成のための主な視点(調査前)》

1. 公共交通を利用しにくい地域への対応
2. 市民の知識向上と効率的な移動手段を選択できる環境整備
3. 多様な交通手段と交通サービスの適正な活用
4. 交通弱者の目線に立った環境整備
5. 災害時のリダンダンシー(代替性)
6. カーボンニュートラルへの貢献